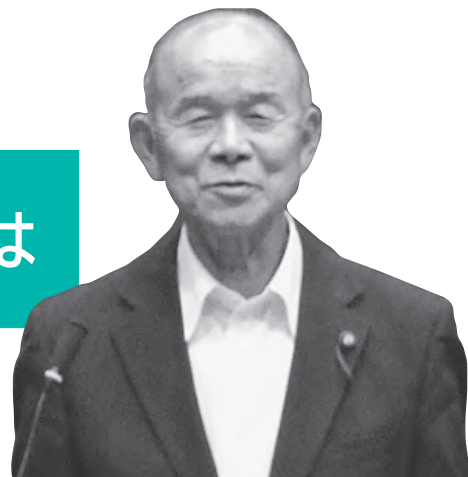




質問

仁多米認証制度の検討状況は

町長

慎重に検討している



一雨ごとに育っていく稲

議員

糸原

としゆき 壽之

質問 仁多米の有利販売のため、新しい認証制度を設けてはどうか。

町長 農業振興課と第三セクター奥出雲仁多米で検討している。令和7年産のコシヒカリを、食味計で計測して、品質や成

分などを分析し、また他の事例を参考にし、定める基準を検討している。認証基準の運用法等にも農家の皆さんが使いやすい仕組みになるよう制度設計をしている。できれば令和8年度産米から運用したいと考えているが、

非常に難しく、一度基準を定めると変更が難しく、慎重に検討をしている。

再質問 何か一つでも具体的なことが決まっていれば、農家は参考になるがどうか。

農業振興課長 世界農業遺産に認定された生物の多様性とか安心安全なお米というのは基準に必要と考えている。まずは制度を決め、進めていく。

今後の介護人材の長期的な確保配置計画は

質問 10年後介護を必要とする人の数の予想は。

またその介護に当たる介護職員の人数は幾らぐらいと予想されているか。

再質問 介護施設の利用状況は。

町長 10年後の介護職員数の推計というのとはなかなか困難だが、今後も地域ケア会議等で在宅医療・介護連携の課題を抽出して、対応策を検討していく。

町長 雲南保健所提供の資料によると、圏域における介護需要は訪問通所系サービス、入所共に2040年までは横ばいで推移すると推計。本町の場合高齢者の割合は増加する一方で、働く世代は減少傾向が続くので、介護サービス提供の維持が難しくなる。